

計画（案）に関するパブリック・コメント（32通84件）

計画の基本的考え方と全般的事項

分野	意見の内容	本市の見解
<p>基本的な考え方</p>	<p>上流対策を示す「2R」にリフューズ（Refuse）を加えて「3R」としたい。（左京区・男性，68歳）</p> <p>ゼロエミッションの実現には天然資源の採取の抑制や省エネルギーが必要であることから，基本計画のもう一本の柱として省エネ計画を盛り込むべき。（左京区・男性，68歳）</p> <p>全体としてよく考えられた提案だと思う。（西京区・女性，52歳）</p> <p>企業・行政とともに住民が主体的に参画する協働の理念を掲げたことに敬意を表す。また，ごみ発生抑制の段階から廃棄まで，これまで地道に活動してきた市民の環境に対する思い，活動を評価し，支援協力を明記したことも評価する。（女性）</p> <p>難しい用語が多かったが，計画の趣旨・基本的な考え方・目標・課題・具体的な施策がよく理解できた。京都らしさ</p>	<p>リフューズに相当する目標として，手提げ袋やトレイの市収集への排出量削減率などを設定するとともに，買い物袋持参・簡易包装推進キャンペーンなどごみ減量推進会議の取組促進についても盛り込んでいます。こうしたリフューズの取組は，2Rの一つである発生抑制（リデュース）に含めて考えています。</p> <p>数値目標として資源生産性を設定するなど，一般廃棄物処理計画として可能な範囲で物質循環フローの入口部分にも配慮しています。</p> <p>今後も，市民・事業者・行政のパートナーシップに基づき，ごみ減量の取組を進めてまいります。</p>

を盛り込んだイラストや図・グラフが多く視覚的にも理解しやすかった。京都市民の一家に一冊必携である。(右京区・女性, 42歳)

入口から出口への流れを中心に考えられているが, 持続可能な社会の実現のためには出口から入口を見る見方をしなければ資源としての見方ができないのではないか。(西京区・男性, 57歳)

約10年かけてのごみ減量計画はとてもすばらしい内容だと思う。今まで京都市には見られなかったであろう動きと感じているが, 実際にどのようにして活動するのかといったところが少々分かりにくかった。(左京区・女性, 26歳)

リサイクルを強調しているようだが, リサイクルにかかるエネルギーやコスト, 二酸化炭素排出量などを考えると, 何でもリサイクルすればいいというものではない。リサイクルを推し進めるような表現はやめて, ごみ減量 ごみ発電 リサイクルという順序とするほうがいいと思う。(上京区・男性, 23歳)

きめ細かくごみ減量の目標を掲げていることは評価するが, 発生抑制量や再生利用率をより積極的なものにし, 処理処分量や最終処分量を徹底的に小さくするという姿勢で計画を具体化するようにしてもらいたい。(団体)

持続可能な社会の実現に向けては, 石油や鉱石などの天然資源の使用削減が重要です。このために本計画では, そもそも資源を消費しないライフスタイルの構築など上流側(入口部分)の対策を重要視しています。

数値目標達成のための具体的な取組内容とその効果について, 今後策定するアクションプランの中で分かりやすく提示し, 市民・事業者の行動内容を明確にしていきたいと考えています(概要版9ページ, 本編35ページ)。

本計画では, 発生抑制, 再使用といったごみとして排出される前の上流対策を重視したものとなっています。その上で排出されるものについては, 再生利用, 残るものについては適正に処理処分するというようにその位置づけを明確にしています(概要版1ページ, 本編20ページ)。

また, 御意見のとおり, 排出されたごみについても単にリサイクルをすればよいという考え方ではなく, 概要版18ページにあるようにLCAを活用することにより, リサイクル・適正処理の手法としてより環境負荷の低い安全・安心度の高いシステムを採用してまいります。

	<p>「イコール・パートナーシップによる取組の推進」とあるが、後で述べられている市民、事業者の取組がばらばらに書かれていて、それらを行政などがどうつなげていくかということとはあまり展望がないのではないか。行政の役割として、各主体同士をつなげることにもっと積極的であってもよいのではないか。(左京区・女性、23歳)</p>	<p>取組の内容については、市民、事業者、行政それぞれの役割を明確にするために個別に記載していますが、それらの取組を進めるにはもちろんそれぞれの協働が必要不可欠であると考えています。そのための行政の役割は、各主体が自主的取組を進めるための仕組づくりや主体間のコーディネートであると考えており、こうした役割の下、ごみ減量・リサイクルが進むよう積極的に取り組んでまいりたいと考えております(本編20ページ)。</p>
<p>全般的事項 (表現方法)</p>	<p>カタカナ用語を平易な表現に変えてほしい。(左京区・女性、75歳)</p> <p>数値目標のところ、例えば「平成13年度の85.8万トンから平成22年度には5.5%(81.1万トン)…削減します」と表記されているが、()内の数値が削減量と誤解される。「平成13年度の85.8万トンから平成22年度には81.1万トンに5.5%削減、…」と表記したほうがよい。(左京区・男性、32歳)</p>	<p>計画の趣旨を損なわない範囲で、できるだけ分かりやすい表現に修正します。</p>

計画の数値目標

分野	意見の内容	本市の見解
数値目標の設定	<p>数値目標の表現を一般市民に分かりやすいものにしてほしい。(左京区・女性, 75歳)</p> <p>取組に関する数値目標については,市民のごみに対する行動・意識調査を行ったうえで再設定を行い,さらにしっかりしたものにするべき。(右京区・男性, 44歳)</p> <p>事業所でのごみ分別の徹底について数値目標が設定されているが,ごみの分別排出は家庭であろうと事業所であろうと当然の義務であり,65%は低すぎるのでは。(女性, 20歳代)</p> <p>紙の分別は最も簡単な取組と思われ,事業所の紙分別についての数値目標が45%では低すぎる。最低でも90%以上の数値目標を設定することを求める。(左京区・男性, 32歳)</p> <p>ごみに関する予算のうち,ごみ処理,リサイクル,発生抑制のそれぞれに支出されている金額を明確にし,リサイクルと発生抑制により支出を振り分けるよう,予算配分についての数値目標を設定すべき。(左京区・男性, 32歳)</p>	<p>御意見のとおり数値目標だけでは市民の方に十分御理解いただくのは難しいと考えており,そのため,今後策定するアクションプラン(行動計画)の中でわかりやすい形で目標達成に必要な取組内容をお示ししたいと考えております(概要版9ページ,本編35ページ)。</p> <p>市民・事業者・行政の取組に関する数値目標については,ごみ排出実態調査や,市民・事業者へのアンケートによる現状及び将来意向調査の結果等に基づいて設定していますので,妥当なものと考えております。</p> <p>本計画では,上流対策やリサイクルを促進する様々な数値目標を掲げており,それらの達成に向けた取組が着実に進むよう予算に反映させていく考えです(概要版8ページ~9ページ,本編35ページ~39ページ)。</p>

資源生産性については、意欲的な数値設定だと思うが、京都市域外で生産されているものをどう評価するなど、検討課題は多いと思う。将来的に採用される可能性のある算出方法を視野に入れ、詳細に情報を整備して維持することが必要と考える。(左京区・男性、32歳)

計画で求められる先進的な取組に対して、ごみ減量に関する学習講座等への参加者数の目標が少なすぎると思う。計画では10年以上の期間があるので、基本的に全戸・全事業所を回るよう求める。(左京区・男性、32歳)

温室効果ガス発生量について、収集量による二酸化炭素排出、溶融処理に必要なエネルギーは含めているのか。含めるべきと考える。また、リサイクルによる削減効果は評価すべき対象だが、あわせると数値の意味があいまいになるので、個別に提示することを望む。(左京区・男性、32歳)

市への天然資源等投入量に関するデータが十分に整備されていないため、府や国の統計データを用いて推計していますが、今後、数値の精度を上げていくためにも、更なる関連情報の収集に努めてまいります(本編27ページ)。

この数値目標は、参加者数の把握が可能な、比較的規模の大きい学習講座を対象としたものであり、市民の方々の環境学習機会の拡大を目的として設定したものです。各地域や事業所等への啓発については、この数値目標の対象とはしていませんが、当然、きめ細かに実施していく必要があると考えています。

そのため、出前講師の派遣や京エコロジーセンターを核とする地域の環境学習のための場の創設等によって環境教育・環境学習を充実させるなど、今後基本計画の内容に沿って具体化を図ってまいります(概要版13ページ、本編49ページ)。

この数値目標は、市民のごみ減量・リサイクルに向けた努力によって、温室効果ガスがどの程度削減されるのかを分かりやすく示すことを目的として設定したものであり、算定対象は計画で示している範囲としております。

なお、収集車による二酸化炭素排出については、本市では植物由来のバイオディーゼル燃料を使用していますので、カーボンニュートラルの考え方から対象外としています。

ごみ減量とリサイクルによる温室効果ガスの削減量に

	<p>分別品目の拡大を図るため、回収ルートを増やすという目標を設定すべき。(右京区・男性、44歳)</p> <p>事業ベースで古紙回収車が回っている現状では、集団回収だけを取り上げて目標とするのは適切でないとする。ごみ中に混入する新聞紙類の割合で目標を設定するのが望ましいとする。(左京区・男性、32歳)</p>	<p>つきましては、個別に表記します(以上、いずれも本編41ページ)</p> <p>集団回収及び拠点回収の促進について目標を設けており、これらを達成していくことが回収ルートや機会の拡大にも通じると考えています(概要版9ページ、本編39ページ)</p> <p>この数値目標は、分別・リサイクル機会を拡大する取組として、新しい集団回収の取組であるコミュニティ回収制度をあげており、この取組を促進し、市民の努力が数値として表れるためにこの数値目標を設定しています。</p>
<p>目標達成に向けた活動の実践と進捗管理</p>	<p>多くの人にごみ減量に関する目標を持ってもらうためには、ISO14001やKESなどEMS(環境マネジメントシステム)の中に多くの方が身を置くことが有効であることから、EMSの導入を施策の中心に据えるべき。EMSを運用している企業等を優先対象とするグリーン調達が必要と思われる。また、その場合、グリーン調達を要求する側もEMSの中にいないと事情が分からないので、市の全サイトでISO14001の認証取得をすべき。(右京区・男性、44歳)</p>	<p>事業者のごみ減量に向けた取組としてISO14001やKESの取組は有効と考えており、今後ともその普及・促進を進めていくこととしています(概要版8ページ・15ページ、本編35ページ・55ページ・57ページ)</p> <p>グリーン調達については、京都市グリーン調達推進方針に基づく取組を更に進めていきます。なお、市役所本庁舎では今年ISO14001の認証を取得したところでは。</p>

目標達成に向けた具体的な施策

(1) 上流対策に重点を置いたごみ減量化の促進

分野	意見の内容	本市の見解
上流対策の推進	<p>「祭りなど催し物のエコ化」におけるアジェンダ21フォーラムの社会実験は、あくまで施策化に向けた試行であって施策ではない。計画には以下のような具体的施策を盛り込むべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントグリーン要綱に従った市民主体のお祭り / イベントのごみ減量・環境対策に対する市の支援 ・ 公営施設において、再使用容器で飲食物を提供するためのリターナブルシステム（リユース容器の提供・回収・洗浄システム）の整備等 ・ リターナブル食器と洗浄機を備えた「移動式食器洗浄車」の開発普及事業（男性，23歳） <p>「祭りなど催し物のエコ化」には行政による支援が必要であり、以下のような対策を盛り込むべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市主催のイベントや公共施設においての使い捨て容器廃棄軽量化のための奨励と援助 具体的にはリユース食器や洗浄施設の管理運営への協力支援 ・ 京都市認定のえこまつり支援スタッフの養成 各地域での市民祭りにおける催しをエコ化するための協力支援（女性，44歳） 	<p>本計画に記載している内容は、今後の施策の方向性を示したものであり、お寄せいただいた具体的アイデアについては、今後策定予定のアクションプラン（行動計画）の中でその組み込みを検討してまいります。</p> <p>なお、計画案における「アジェンダ21フォーラムによる社会実験」の記述については、催し物の「イベントグリーン要綱」を策定するために必要な取組としてあげたものですが、その取組だけをあげるのは少し限定的と考えますので、計画概要版、本編の記述を「イベントグリーン要綱の策定」のみに修正します（概要版12ページ、本編45ページ）。</p>

	<p>「市民，事業者による自主的活動の推進・支援」では，単なるキャンペーンや啓蒙活動に終わらせないための仕組みづくりをできないものか。経済的なインセンティブを与えとか。ごみ減量の努力をすることでどこかで優遇的措置を受けられるようなしくみを考えるべき。家庭系ごみの減量化についても同様に経済的インセンティブをはたらかすべき。(左京区・女性，23歳)</p> <p>レジ袋や食品トレイの使用削減は，小売店の協力がなければ不可能だと思うが，資料-6 ページの，「ごみ減量対策の実施状況」を見ると，日用品等物品販売店は「無回答」が他の業種に比べて高く，小売店の非協力的な(そうならざるを得ない)状況があるのではないか。「パートナーシップ」を成立させるための，行政，市民</p> <p>，他種の事業者による小売店巻き込み策が必要なのではないか。(左京区・女性，23歳)</p>	<p>こうしたごみの発生そのものを抑制するための取組を実効あるものとするためには，市民・事業者のごみ減量化の努力を促進・支援するため，あらゆる機会をとらえ，多様なルートを通じた情報提供・意識啓発策を幅広く展開していくことが行政として最も重要な取組と考えております。そのための施策として本計画では，レジ袋の削減の取組をしているお店やトレイなどの店頭回収実施店の紹介，こうした取組による環境負荷の低減や経済的効果など，各種ごみ減量・リサイクル情報を記載した総合的な環境情報誌「グリーンページ」の作成をあげています(概要版14ページ，本編53ページ)。</p> <p>こうした取組を進める中で販売店等の横の連携も広がっていくものと考えております。</p>
<p>(市民・事業者による主体的活動の推進・支援)</p>	<p>ごみ減量を実践する人づくりのための施策を具体化してほしい。(左京区・女性，75歳)</p> <p>ごみ減量推進会議の取組促進の中で，地域活動の核となるリーダーの養成と組織づくりを一日も早く行ってほしい。(山科区・男性，67歳)</p>	<p>ごみ減量を進めるためには，御意見にあるような人づくりが最も重要であると考えております。このため本計画にもとづいて，環境教育・環境学習機会の拡大に向けた取組みを推進するとともに，地域ごみ減量会議の拡大を図る中で地域リーダーの養成に積極的に取り組んでまいります(概要版13ページ，本編47ページ)。</p>
<p>環境教育・環境学習</p>	<p>環境教育・環境学習の充実の部分に，小学校における，めぐレットペーパーの取組についての記述を取組例として盛り込んでほしい。(上京区・女性，60歳)</p>	<p>記述を追加します(本編48ページ)。</p>

	<p>環境教育の一環として、学校給食の牛乳をびん化して、びんがリユースできる優れた容器であることを子どもたちに知ってもらってはどうか。(右京区・女性、54歳)</p>	<p>牛乳がびん詰めのものから紙パックのものに替わった理由として、落とした際の安全性の確保や、びんを繰り返し使用するうちにガラスの破片が混入し子どもが怪我をしたケースがあったことなどがあります。こうした経緯から、びんの導入はごみ減量の側面のみで決定できない事情があると考えています。</p> <p>なお、現在の牛乳パックについては、子どもたちの協力によってめぐレットペーパーにリサイクルされております。</p>
<p>家庭系ごみの減量 (市民の取組)</p>	<p>マイポット持参運動の復活を望む。(無記名) 各小学校の空き教室を利用するなどして、古着を持ち寄り展示するための場を常設してほしい。(西京区・女性、52歳) LCAや経済的インセンティブ等で、リターナブル容器導入の機運をつくり上げるよう計画に盛り込んでほしい。(右京区・女性、54歳) リユース容器は買った店に返すという習慣を普及させることで、税金を使わない容器循環の施策支援を行うということを明記してほしい。(右京区・女性、54歳)</p>	<p>古着等の中古品展示プラザなどごみ減量につながる販売方式の促進や、店頭回収の活用等によるリターナブル容器システムの整備といった取組を進めることにより、2R型エコタウン(発生抑制・再使用を重視したエコタウン)の構築を目指し、市民がごみ減量に取り組む仕組みづくりに努めていきます(概要版12ページ、本編45ページ)。</p> <p>また、マイバッグキャンペーンや無包装・簡易包装運動など、市民の行動を促す運動の強化・定着も図っていきます(概要版13ページ、本編47ページ)。</p>
<p>(行政の取組)</p>	<p>ごみの年次の処理経費を公表するよう言及してほしい。(右京区・女性、54歳) 市民が行うごみ減量・リサイクル活動に対してどのようなサポートを行うのかを明確にしてもらいたい。(右京区・男性、44歳) 「グリーンページ」の中には、分別排出の現状についての情報も盛り込み、正しいごみの出し方を市民にPRしてほしい。(山科区・男性、67歳)</p>	<p>ごみの出し方やごみ処理原価等の行政情報については、総合環境情報誌として作成を予定している「グリーンページ」に分かりやすい形で掲載することを検討していきます。この「グリーンページ」には、ごみ減量の実例や、リサイクル・リペアショップ等の案内などの情報も掲載する予定であり、こうした情報の提供によって市民のごみ減量に向けた活動を支援していきます(概要版14ページ、本編53ページ)。</p>

	<p>私はごみ減量に努力しているつもりだが、全然意識していない人もいないのではないかと。ごみ袋を有料にするなどで頑張っている人とそうでない人の差をつけてはどうか。(女性)</p>	<p>また、リサイクル活動の支援としては、新しい集団回収の取組(コミュニティ回収制度)の普及促進などを掲げています(概要版17ページ、本編63ページ)。</p> <p>さらに、分別マナーの徹底を図り、資源ごみの家庭ごみへの混入を防ぐとともに、市民のごみに対する意識を高めるため、透明指定袋制導入の検討を進めていきます(概要版16ページ、本編61ページ)。</p> <p>このように、ごみ減量に取り組む仕組みの整備や分別マナーの徹底などを行ったうえで、なお減量効果が見られない場合には、努力する市民としない市民の間の負担の公平化を図るため、家庭ごみ収集・処理費用の負担のあり方について検討していくことが必要であると考えています(概要版14ページ、本編52ページ)。</p>
<p>(啓発・指導)</p>	<p>情報提供や啓発ではなく、住民一人ひとりに対する指導の徹底を続けていくべき。(左京区・男性、66歳)</p> <p>今後、ごみ減量活動について各地域で広報する場合、町内会に入っていない家庭には市関係のポスターや回覧等が回らないという問題を関係部署と相談のうえ解決する必要がある。(山科区・男性、67歳)</p> <p>ごみの発生抑制や減量、リサイクルなどに対する意識の高揚は、ごみを実際に収集している方から、直接顔をあわせて話を聞くことなしには難しいと思う。(女性、20歳代)</p>	<p>本市では、各種パンフレット、インターネットのホームページや市民新聞等による情報提供やごみ減量推進会議における「ごみ減量実践講座」やエコロジーセンターにおけるごみ問題の学習会の開催等を通じて、ごみ減量・リサイクルに向けての意識啓発対策を進めているところですが、市民一人ひとりがごみ減量等に関する意識を持ち自主的に行動するまでにはまだ十分浸透していないのが現状です。</p> <p>こうしたことを踏まえ、本計画では、総合環境情報誌「グリーンページ」の作成やイベント等における学習機会の拡大など多様なルートを通じた情報提供・意識啓発等を幅広く展開・強化していくこととしています(概要版13ページ・14ページ、本編49ページ・53ページ)。</p>

		<p>また地域コミュニティとの接点の少ない住民への対応策として、マンション等の管理人を通じたごみ情報の提供や、地域や事業者の要望に応じた「出前講師」の派遣などを施策としてあげており、今後本計画に沿った取組を進めることにより市民の環境意識の定着を図っていきます(概要版13ページ,本編49ページ・53ページ)。</p>
(食の循環)	<p>生ごみを堆肥化したものを利用してもらえる先の確保と連携をお願いしたい。(女性,20歳代)</p> <p>食の循環システムの構築が、全体の計画の中であまりにも軽視されすぎていると考える。バイオガス化だけでは不十分で、京都市の範囲を超えた協力による堆肥の利用先や、畜産業との連携など幅広い配慮が必要になる。(左京区・男性,32歳)</p> <p>食の循環について、もう少し具体的な支援を明記してほしい。例えば、「2005年までに数箇所の中型・コミュニティ型コンポスターを設置する。そのために、現在自主的に行われている社会実験を支援し、一つのモデルとして研究する。」など。(女性)</p>	<p>本計画では、「2R型エコタウン」の実現を目指す取組の一環として、モデル的な厨芥類減量化の取組の実施と成果の普及や、食と農をつなぐコーディネート機能の整備など、食の循環システムの構築のための取組を進めることとしており、また、資源循環に向けたバイオマスの活用については、バイオガス化と併せて自主的な取組に対する支援も検討していくという方向性を打ち出しています(本編45ページ・63ページ・70ページ)。具体的な取組内容については、今後アクションプラン(行動計画)の策定の中で検討していきます。</p>
事業系ごみの減量 (事業者による自主的取組)	<p>ごみになるものを売らないためのメーカー等事業者自身の工夫や行政から事業者への指導も、家庭系ごみ減量には必要。(左京区・男性,66歳)</p> <p>包装の一層の簡素化を進めるべき。(無記名)</p> <p>飲料を缶や紙容器に代わって、マイコップで飲めるようにならないか。(無記名)</p> <p>どこでもどのメーカーでも使用可能な規格統一びんの採用を、事業者の役割として明記してほしい。(右京区・女性,54歳)</p>	<p>家庭ごみ減量のためには、製品をつくる側である事業者がごみの出にくい製品設計を行うなどの取組を行うことも必要です。そうした事業者との連携を図りながら、2R型エコタウン(発生抑制・再使用を重視したエコタウン)の構築を目指していきます(概要版12ページ,本編45ページ)。</p>

	リユースびんについては、それがリユースできるということを明記したシールなどの導入を働きかけてほしい。 (右京区・女性, 54歳)	
(事業者のごみ減量を促す行政の取組)	ごみ量増加の多くが事業系ごみに由来することから、排出者責任を明確にする立場で計画の具体化を進めてもらいたい。(団体)	事業系ごみの減量は、重要な課題と認識しており、処理原価に応じたごみ処理料金の設定等によりごみ減量への誘導策を進めるとともに、大規模事業者に義務付けている減量計画書の更なる活用等により管理指導體制の強化を図るなど、排出者責任をより明確化する方向で施策の展開を図ってまいります(概要版15ページ, 本編57ページ・58ページ)

(2) 分別・リサイクルの拡大

分野	意見の内容	本市の見解
分別・リサイクル (分別機会の拡大)	<p>その他プラスチック製容器包装のリサイクルについては、早期に全市の取組にすべき。(団体)</p> <p>家庭系ごみの分別拡大は非常にいいことだと思う。(伏見区・男性, 68歳)</p> <p>電池の回収拠点を増やしてほしい。(女性)</p> <p>紙パックやトレイも資源ごみとして行政収集してほしい。又は、回収している場所についての情報を提供してほしい。(女性)</p> <p>プラスチックやビニールを家庭ごみに混ぜるのは気がひける。分別を細かくしてほしい。(女性)</p>	<p>今後、平成17年に予定されている容器包装リサイクル法の改正動向も踏まえながら、できるだけ早期にその他プラスチック製容器包装の全市拡大に取り組んでまいります(概要版16ページ, 本編61ページ)</p> <p>効果的・効率的な視点に立って、行政として一層のリサイクル率の向上や分別品目の拡大に取り組んでいきます。また新たな集団回収の取組として古紙, 古布, 缶, びんなどの分別・リサイクルを地域ぐるみで進めるコミュニティ回収制度の普及・促進を図るとともに、乾電池, 紙パック, トレイなどの身近な回収拠点として店舗・商店街・公共施設等の活用を進めることで、市民の分別・リサイクル機会をさらに拡大してまいります(概要版</p>

	<p>亀岡市等に比べて家庭ごみの分別がなっていない。(右京区・女性, 46歳)</p> <p>現行の缶・びん・ペットボトルの混合収集については早急に改め,びんの独自回収システムをつくりあげるべき。(団地)</p> <p>紙類やプラスチックの分別について,リサイクルできるもの,できないものと細かく分別してもよいのでは。(左京区・女性, 26歳)</p> <p>分別収集を拡大する場合には集積場所の確保が課題であるが,これについて行政の取組を教えてほしい。(伏見区・男性, 68歳)</p>	<p>17ページ,本編63ページ)</p> <p>御意見のとおり,分別収集の品目拡大を進めようとする狭隘な道路や場所が多い本市の特性として集積場所の確保が大きな課題となります。このため,行政による分別収集を進める一方で,コミュニティ回収制度など市民による集団回収の促進や拠点回収の拡大など分別機会の拡大を図ることで,こうした課題の緩和につなげようと考えています(概要版17ページ,本編63ページ)。</p>
<p>(拡大生産者責任)</p>	<p>ごみ減量のために上流対策を進めていくこと,とりわけ各種リサイクル関連法の見直し・整備に当たっては,拡大生産者責任を明確にした社会経済システムを展望し,国や関連業界への働きかけを積極的に進めていくことを要望したい。(団体)</p> <p>拡大生産者責任と受益者負担の原則をより明確に取り込んでほしい。また,リサイクル処理費用を外部化している容器については,その内部化を国レベルの施策になるよう,容り法改正への提言を盛り込んでほしい。(右京区・女性, 54歳)</p>	<p>他の自治体等とも連携を図りながら,国や事業者に拡大生産者責任の徹底を強く求め,そうした考え方に立った仕組みづくりを目指します(概要版16ページ,本編59ページ)。</p>

<p>(有害物・危険物)</p>	<p>家庭系の有害物は大きな課題であり、適正処理のシステム構築を推進する計画を全面的に支持する。(左京区・男性、32歳)</p> <p>家庭系有害廃棄物に関して、蛍光管、乾電池、スプレー缶、カセットボンベ等については、販売店における回収制度を実現できるように検討を進めてもらいたい。また、化学薬品や農薬・殺虫剤等の有害物質を含むものについて回収ルートを確認してもらいたい。さらに、不燃ごみの回収ルートを整備することも検討してもらいたい。(団体)</p>	<p>有害物・危険物については、安全性の確保・有害物質の総合的管理という観点から、事業者と連携を図った適正な回収ルートの整備を検討するとともに、資源化可能なものについては分別・リサイクルの実施も検討します(概要版17ページ、本編65ページ)。</p>
<p>適正排出 (マナー対策)</p>	<p>ごみ袋に排出者の名前を書かせるようにして、分別のチェック体制を確立すべき。(左京区・男性、66歳)</p> <p>家庭ごみの中に空き缶やペットボトルが混ぜて出されているケースがある。マナーを守らない人に対して何らかの対策をしてほしい。(男性)</p>	<p>ごみ分別マナーの徹底と資源ごみへの異物混入率の低減を図るため、透明指定袋制導入に向けた検討を進めていきます(概要版16ページ、本編61ページ)。また、ごみの出し方についての普及啓発も継続して進めてまいります。</p>

(3) 環境負荷の少ない廃棄物管理システムの構築とまちの美化

分野	意見の内容	本市の見解
<p>廃棄物管理システム (全般)</p>	<p>ハード面よりもソフト面を重視した効果的・効率的なシステムづくりを進めるために、市民参加のもとに総合的な検討を行うことが必要。特に、ごみ減量の促進により処理処分量が減少していくことと、ごみ焼却施設の整備計画が連動するように見直しをしてもらいたい。(団体)</p>	<p>本市では、現在、計画段階から環境への影響等について複数案を設定して予測、評価する戦略的環境アセスメントの制度化に向けた検討を行っており、この中で幅広い住民参加の機会の提供についても検討を行っているところです。</p> <p>なお、ごみ減量に連動したクリーンセンターの体制縮小については、計画に記載しているところです(概要版18ページ、本編68ページ)。</p>

(バイオマス)

これまでのバイオマス利用の取組について総合的評価を行い、問題点を明確にしたうえで次の計画に進むようにしてもらいたい。(団体)

バイオガス化の方向が明記され、推進されようとしているようだが、クリーンセンターと併設というのは相変わらず大型、中央一括型ではないか。また、バイオガスプラントの実験結果の評価がまだ出ていない。それら実験と結果を環境負荷や経済効果等も勘案して、市民の選択に委ねることが大切。(女性)

クリーンセンターにおけるバイオガス化施設の併設だけでなく、地域におけるバイオガス化施設の取組も施策としてあげるべき。(女性)

本市では、これまで全国に先駆けてバイオディーゼル、バイオガスなどのバイオマスの利活用に向けた取組を進めてきました。この内バイオディーゼルについては、市民回収による使用済み天ぷら油を再生した環境にやさしいバイオディーゼル燃料によりごみ収集車が走行するなどリサイクルの推進と環境負荷の軽減など一定の成果をあげてきております。

またホテル等からの厨芥を用いたバイオガス化実証実験についても、平成11年6月から約3年半の実証実験を終え、その成果は、食品リサイクル法の再生利用法として位置付けられるなど国レベルでの評価にもつながっております。

こうした流れを踏まえ、バイオガス化施設のクリーンセンターでの併設を施策としてあげたものであり、これらの環境負荷についてもLCA手法を活用した検討の結果、焼却等の手法と比べて負荷が低いことが分かっています(本編資料10)。

なお、家庭や事業者、地域コミュニティのバイオマスに関する取組への支援の検討についても、計画で記載しているところです(本編63ページ・70ページ)。

計画の進捗管理

分野	意見の内容	本市の見解
	<p>市民が参画できる形での計画の進捗管理を求める。「市民への積極的な公表」に加えて、「進捗管理への市民の参加」を明記してほしい。(左京区・男性, 32歳)</p> <p>この計画を進めていく中で事業所も個人も一人一人が自覚をもって行わなければならない。一人一人が毎月チェック表に自分の取組の成果を記入し京都市へ提出し, それを集計していただき, 成果, 反省点, 目標値まであとどれくらいか等をわかりやすく返していただきたい。その時々が発生する社会状況の変化に対応するため, 計画の見直しが必要な場合はすみやかにP D C Aがうまく稼働し, スパイラルアップしていくよう, また市民一人一人の意識・取組が高まるよう指導していただきたい。(右京区・女性, 42歳)</p>	<p>施策を効果的に推進するためには, 進捗管理体制の確立がきわめて重要と考えており, 今後そのためのプロジェクトの設置が必要と考えております。進捗管理における市民参加のあり方については, 御意見の趣旨も踏まえながら検討してまいります。</p> <p>計画を着実に実施し, ごみ減量を進めていくためには, P D C Aの考え方に基づく進捗管理が重要であると考えております。このような考え方に基づいて市民・事業者・行政が主体的に取組を進めていく契機づくりとして, 取組に関する数値目標をきめ細かく設定し, 進捗状況を把握するとともに, 進捗の程度に応じて施策の充実・強化に向けた取組を進めていきます。</p> <p>なお, 目標達成のための具体的な取組内容については, 来年度策定予定のアクションプラン(行動計画)の中で明らかにしていきます。</p>

その他

市にはISO9001の認証取得をしてほしい。(西京区・男性, 65歳)

まちの美化についての職員の意識が欠如している。(西京区・男性, 65歳)

まちなかにごみ箱がない。(西京区・男性, 65歳)

包装ごみを減らす観点からも,大型スーパーではなく家の近所の個人商店や車での巡回販売を促進すべき。(無記名)

市役所前フリーマーケットについて,混雑を防ぐために月2回開く,出店料をもう少し抑える,出品者から海外に寄付してもいいものを何点か選んでもらい出店料の一部をその送料に充てるなどの検討をお願いしたい。(左京区・女性, 34歳)

パソコンリサイクルについては,機械の寿命から平成20年度くらいに相当多数のパソコンが排出されることが予想される。今から状況を見通しておくことが必要。(山科区・男性, 67歳)

ごみの収集時間がばらばらで,遅い日はカラスがつついてごみが散乱している。交通事情もあるだろうができれば早く収集してほしい。(女性, 30歳代)

観光地のごみ対策について,人の良識に訴えたりボランティアの方々の善意にすがったりするだけでなく,きちんと掃除する人を雇うなどまちをきれいにする請負人制度をつくってはどうか。(女性)

排ガスや,電気をつくるのに使用する原子力も確実に環境を破壊するということもしっかり主張すべき。それらは目には見えないが立派なごみである。(上京区・男性, 23歳)

計画達成についての市長の責任は重大である。環境先進都市・京都市の総責任者として,ごみ行政の転換のために断固とした決断とリーダーシップを発揮してもらうことを期待したい。(団体)

河川敷の大型ごみ等の不法投棄にはきりが無い。(右京区・女性, 46歳)

施設の整備にあたって関連地域住民の意見集約については,最大限の配慮をもって進めてもらいたい。(団体)